



# なばり

2011年(平成23年) 9月25日発行

主な内容

- 2……小規模特認校のご案内、高齢者のインフルエンザ予防接種
- 3……体育・健康フェスタ、かがやき催物、リバーナホール催物
- 4……二次救急実施病院、ひまわり

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

## 地域医療を支える vol.2 名張市立病院

伊賀地域の二次救急医療を取り巻く状況が厳しい中、今号では、役割・負担が大きくなっている名張市立病院の医師や看護師、院長に勤務や二次救急の現状についてお話を伺いました。

☎健康福祉政策室 ☎63-7579



### 通常勤務に加え、当直から書類作成まで 内科・循環器内科医師 谷村 宗義さん



**現**在、外来の診察のほか、検査や入院患者の対応をしています。こうした通常勤務に加えて、月2回程度は土・日曜日に救急を担当する当直をしています。

**平**日は主に、応援医師が当直勤務を担当していますが、わたしたち勤務医が担当しなければならない時間帯もあります。また、当直でない日でも緊急の心臓カテーテルの検査などに対応するため、30分以内に病院へ到着できるところで待機しています。さらに、名張市立病院の二次救急実施日でなくても、当然、入院患者さまがいます

ので、内科医師で当番を決めて待機しています。こうした診療以外にも、たくさん診断書や診療情報提供書などを書かなければなりません。これは、一晩中かかることもあります。

**勤**務は大変ですが、頑張れるだけ頑張りたいと思っています。名張市立病院は3カ所目の勤務地ですが、医師、看護師、その他の病院スタッフ全員が非常によく協力できている病院です。これからもスタッフ全員が力を合わせ二次救急を守っていきたいと思います。

### すべての患者さまを受け入れたいのですが… 看護師 福田 保恵さん

→ 一次救急実施日の救急外来の体制は、医師3人、看護師3~4人、放射線技師、検査技師、薬剤師各1人、事務職員2~3人のあわせて10数名で対応をしています。この他に、緊急手術や緊急処置に備え医師や看護師が待機しています。

**多**い時には、一晩に20台近くの救急車を受け入れたということもありました。緊急手術や緊急検査が必要な重症患者さまの治療が重なったり、ときには入院患者さまの病状が急変することもあります。このようなときに

は、残念ながら新たな受け入れが困難な状況になります。**受**入要請の電話はわたしたち看護師が対応しています。症状などをお伺いし、担当医師に相談をしています。症状によっては、まず、応急診療所などを受診いただくようお願いしています。しかし、中にはご理解いただけず、「なんで応急診療所へ行かなあかんの」とお叱りを受けることもあります。すべての患者さまを受け入れたいのですが、重症患者さまの受け入れ対応が優先されることをご理解いただき、ご協力をお願いしたいと思います。



### 皆様のご協力が、医師を守り、市民の命を守る 院長 伊藤 宏雄さん



**伊**賀地域の二次救急を担う3病院では、内科をはじめとした常勤勤務医の減少に歯止めがかからない状況にあります。上野総合市民病院では内科医師がいなくなり、岡波総合病院や名張市立病院の内科患者が増えています。特に、岡波総合病院の負担が大きくなっています。  
→ 一次救急を守るには、医師確保が最優先の課題です。  
→ そのため、関係大学や三重県などと協議しながら、医師確保に努めるとともに、インターネットを使った医師

募集も行っています。また研修医を受け入れることにより、医師の育成確保にも取り組んでいます。

**病**院スタッフが一丸となって二次救急を守ろうと頑張っています。もちろん、二次救急を守るためには、市民の皆様のご協力が不可欠です。一次救急と二次救急のすみ分けなど適正な受診をしていただくことが、医師を守ることになり、それが地域の病院を守り、そして市民の皆さんの命を守ることにつながるのだと思います。